

米・マサチューセッツ発：29人の日本人作家展 MOBILLA GALLERYで開催

米・マサチューセッツ州・ケンブリッジにある、Mobilla Galleryで、去る6月17日～7月31日、日本人によるジュワリーと器を紹介する《Japanese Jewelry and Hollow ware》展が開催されました。

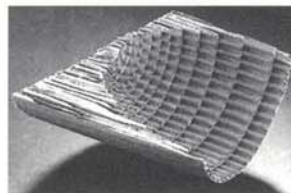
29人のジュワリー作家が出品しましたが、特に、貴金属や宝石を使ったものより、紙や竹、エナメルやラッカーなどが使われた作品を意図的に集めていたようです。

写真は、出品作品から。写真説明は同ギャラリーのリーフレット通り。



Tomomi Maruyama "Rooster" sculpture : copper, gold leaf

Ritsuko Ogura "Brooch" : Layered and carved corrugated cardboard



Mikiko Minewaki "Set of two bracelets": Plastic miso soup bowl

独・フランクフルト発：チママンの究極のシンプル テンデンス・ライフスタイル展より



8月22日～26日、ドイツ・フランクフルト国際見本市会場では、恒例の世界最大級の消費財見本市《TEN DENCED Lifestyle：テンデンス・ライフスタイル》が開催されました。世界から10万人の訪問者を迎

えた同フェア。あまりに大きなスケールなので、分野を4つの扉に分けています。ジュワリーは「Joy」の分野に含まれ、ホール6-2に集められます。写真は、ERICH ZIMMERMANNのジュワリー。大きな

宝石をシンプルに、を最近シリーズ的に発表。毎年出品している彼ですが、毎回毎回、大きくなるみたい…？ 来年、2004年は8月27日～31日の開催予定。ぜひ一度、訪問を。

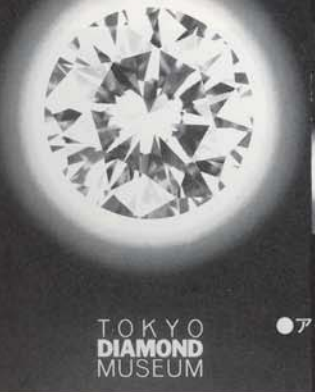
英・ロンドン発 90人のG・スミスが

英・ロンドンのゴールドスミス・ホールで、《GOLD SMITHS' FAIR 2003》が、9月29日～10月5日に開かれました。テムズ川のすぐ近にある同ホールでは、90人のコンテンポラリー・デザイナーが参加。ジュワリーやシルバーウェアを中心にした一品もののアーティストィックな作品を見せました（写真は同フェア・パンフレットより）。

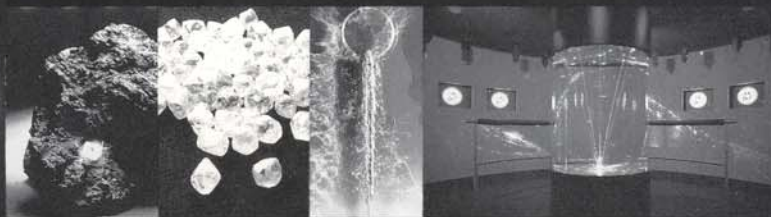


なぜ人は、その輝きに魅せられたのか。

太古の地球、ダイヤモンドの誕生から歴史に残るダイヤモンド、近代工業利用、そして輝きの秘密まで。



TOKYO
DIAMOND
MUSEUM



●アートジュワリー2003：東と西の感性の出会い展：11月30日まで開催中。

東京ダイヤモンドミュージアム
東京都台東区東上野1-26-2 ジュエラーズ
タウンオーラム4階 TEL.03-3834-9700

●営業時間／10:00AM～5:00PM
入場は4:30PMまで(月曜日・休館)
●入場料
大人500円(団体450円)
中高生300円(団体250円)
小学生以下無料
※団体は1組15名様以上



●地下鉄銀座線稲荷町駅より徒歩5分
●JR御徒町／上野駅より徒歩7分